

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様と関わる際は、その思いを汲み取り、一人一人の性格を把握し、言葉の際は、誇りやプライバシーを損ねない声かけをする。	自身がされて嫌な言葉かけやプライドを傷つける様な言葉かけや動作を行わない。職員間で言葉使いや行動について互いに注意しながら対応する。グループホーム会議で対応方法について取り組む。	12ヶ月
2	18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設と言う場所の関係をなるべく除外し、同じ空間で過ごしている関係を築き、お互いが助け合う生活環境に努める。	一日の生活を通じて、出来る事をして頂く事で暮らしの場である事を共有する。本人の「願い」や「思い」を最優先に考え、役割を共同で行い職員も楽しいことや、悲しいことを共有し、言い合える関係作りを図る。	12ヶ月
3	23	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的な会話やコミュニケーションのささいな行動や言動も見逃すことなく「できる事」「その思い」を支援に繋がられるよう努める。	生活歴やアンケート結果での思いを把握する。家族から発する言葉や思いに傾聴し、グループホーム会議で「できる事」「その思い」が何であるかを話し合い、意向に繋げる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。